

H23 年度科学・技術関係予算概算要求 個別施策ヒアリング

【施策番号 24171：基幹ロケット高度化（文部科学省）】

- 1 日時：平成 22 年 9 月 13 日（月） 17:00～17:30
- 2 場所：中央合同庁舎 4 号館 2 階 第 3 特別会議室
- 3 聴取者：白石議員、奥村議員、青木議員
外部専門家 6 名（うち若手 2 名）
内閣府 大石審議官、廣木参事官
- 4 説明者：文部科学省 研究開発局・宇宙開発利用課 佐伯課長、有林課長補佐、
（独）宇宙航空研究開発機構 宇宙輸送ミッション本部・事業推進部 布野部長、
宇宙輸送ミッション本部・輸送系先進基盤開発室 藤田室長他
- 5 施策概要

我が国の宇宙空間へのアクセスを可能とする重要な手段である基幹ロケットについて、我が国が宇宙活動に係る自律性を保持し続けるためには、長期的な視点に立った弛まない新たな技術開発を継続的に行い、人材の育成や経験・知見の蓄積を図るとともに、基幹ロケットに係る総合的な技術力を継続的に発展・向上させていくことが必要不可欠である。

このため、基幹ロケットである H-IIA ロケットの効率的な運用を行う観点から、衛星の長寿命化、二極分化へ対応するために高度化を行う。

6 質疑応答模様

【外部専門家】

トータルインパルスを増やすということなのだが、いろいろな方法（打上げ方法）のオプションのうち、利用者にとってどの方法にどういったメリットがあるのか？

【文部科学省】

太陽同期軌道に 2 トンクラスの衛星を打上げるのに、ロケット 1 機で 2 つ打上げることが可能となり、別々に打上げる場合に比べ 70 億円程度の費用削減になり、国の資金効率化に寄与できる。

【外部専門家】

分離衝撃の緩和とは、2 段ロケットと衛星の分離ということか？

【（独）宇宙航空研究開発機構】

そのとおり。

【外部専門家（若手）】

2 段エンジンの再着火、再々着火について、日本は世界のどのレベルか？
また、長時間のコースティングの実証は、実証機を打上げて行うのか？

【(独)宇宙航空研究開発機構】

トップレベルである。実証の詳細はこれから決定するが、主ミッションの後に実証を行いたいと考えている。

【奥村議員】

価格はどこまで下げれば海外から受注できるのか？

【文部科学省】

打上げ価格ターゲットについては、コストとプライスの問題があり難しいところであるが、アリアンロケットを一つの目標と考えており、本施策はアリアンロケットと競争可能にするための取組。商業市場もあるが、その前に国として基幹ロケットを持つことに対する考え方、目的があると考えている。

【外部専門家】

射場設備についての取組は具体的には何か？

【文部科学省】

老朽化に対処し、地上系のトラブルで打上げが延びるリスクを回避する。

【白石議員】

事業基盤の弱体化は、防衛産業一般についても顕著である。防衛省や経産省では防衛産業戦略が必要ではと議論がなされている。本施策もまさにその一部であるのだが議論はされているのか？

【文部科学省】

宇宙開発戦略本部と中心として、宇宙基本計画策定の過程で議論を実施してきている。但し、今の財政で宇宙の予算を増やせるのかと考えると、厳しいため国際競争力を高めて外から資金を取ってくることを考える必要があると考える。

以上